

日時：令和4年7月19日（火）午後6時30分～

場所：岩崎地区交流センター

## ■提案課題①

公共インフラの今後の老朽化対策や計画について

### ➤市からの回答

#### ○建築物最適化計画での考え方

- ・平成30年度に策定した「北上市建築物最適化計画」に基づく、旧農業就業改善センター、煤孫農村交流プラザ、旧岩崎新田小学校、旧煤孫小学校の今後の予定については、以下のとおりです。

#### ●旧農業就業改善センター

- ・令和4年度に、解体工事に係る実施設計を行う予定です。
- ・令和5年度に、解体工事を実施する予定です。

#### ●煤孫農村交流プラザ

- ・令和4年度に、昨年度の雪害により破損した採光窓を保護し、再発防止を図るための工事を行う予定です。
- ・令和5年度に、外壁のひび割れ部分の修繕を実施する予定です。
- ・建築物最適化計画において、2042年の長寿命化工事と合わせて、スポーツ施設への変更を行う予定です。

#### ●旧岩崎新田小学校について

- ・現在、旧岩崎新田小学校の一部を地域へ無償貸し付けしているところがありますが、「北上市建築物最適化計画」において、貸付けしている普通財産については、老朽化が進み今後多額の維持管理費が見込まれることから廃止に向けて検討することとしています。
- ・旧岩崎新田小学校については、計画上、令和6年度に廃止予定であることから、これから地域との協議を進めていきたいと考えています。

#### ●旧煤孫小学校について

- ・現在、旧煤孫小学校は、庁内の文書保管場所として使用しているところですが、令和6年度に解体工事を実施する予定です。

## ○施工途中で工事が止まっている道路(市道6013896線)について

### ●沢の入大官森線

#### 当初事業

- ・平成5年から平成14年に測量設計、用地補償、工事  
(全体延長L=2,204mのうちL=1,342m整備済み)
- ・平成14年から平成16年に遺跡調査  
「上須々孫館跡」遺跡の保存決定により事業休止

#### 事業再開

- ・平成26年度に事業着手し、測量設計を実施(延長817m)。
- ・平成27年度に着工し、令和元年度時点で420mが完了。
- ・令和元年度は、工事及び地質調査を実施。
- ・令和2年度は、用地取得及び物件移転補償を実施。
- ・令和3年度は、一部区間の修正設計及地質調査を実施。
- ・令和4年度は、構造物設計及び工事を再開し130mを施工予定。
- ・令和5年度以降も引き続き残区間の267mを施工し、令和6年度に完成予定。

※令和元年度工事の際、現況法面の土質が設計と異なることが分かり(湧水発生)、工事の一部中止を行いました。この中止区間については、同年度に地質調査、令和3年度に修正設計を実施しました。令和4年度に工事を行います。

※令和3年度地質調査は、一般構造物(カルバート等)の設計に必要な支持地盤の調査です。

## ■提案課題②

### 民俗芸能の育成と伝承について

#### ➤市からの回答

- ・総合計画基本方針3の「民俗芸能の育成と伝承」では、民俗芸能保存団体(いわゆる保存会)への用具整備費用の補助と公演機会の拡充を行っています。
- ・公演機会についてですが、昨年度はコロナ禍で多くの催事が中止になりましたが、今年度は展勝地さくらまつりを皮切りに、新型コロナウイルス感染拡大防止の工夫の上で再開されるものが増えてきました。8月6日、7日のみちのく芸能まつりは日程を短縮し実施することが決まり、

育成団体をプログラムに盛り込むことについて実行委員会での調整が続いていると伺っております。

- ・市では、令和元年度から民俗芸能の発表機会創出や情報発信など保存継承を総合的に支援する業務を北上市民俗芸能協会に委託しています。この中で10月16日には「秋の子どもみちのく芸能まつり2022」がさくらホールを会場に予定されています。

このほか、鬼の館芸能公演や、定住自立圏における芸能団体の交流を進める事業、民俗芸能の公開と収録を行う事業などがあります。

- ・感染拡大を防ぎながら事業を推進していく方法は徐々に蓄積されてきていますので、多くの公演機会が確保できるように取り組んでまいります。